

学 校 運 営 計 画 (4月)			評 価 (3月)		
学校運営方針		併設型中高一貫教育校として、生徒一人一人の豊かな人生実現を支えるべく、中高それぞれの教員が相互に連携し、その特性を最大限に生かす6年間を見通した教育課程を確立し、100年後に繋がる確固たる礎を築く。			
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標		
<p>(成果) ICT機器の全普通教室設置により学習環境が向上し、主体的・対話的で深い学びを目指したAI型授業の実践が増加しており、授業改善は確実に進んでいる。さらに、中高合同研修会等も継続的に実施されており、6年間を見据えた教育の環境づくりに努めている。また昨年度の進路実績についても国公立大学合格者40名と進学校として一定数を維持している。</p> <p>(課題) 生徒の学力や進路希望は多様化しており、これまで以上に個に応じた指導の充実が必要となっている。さらに、大学入試改革に伴う対応、新学習指導要領実施に向けたカリキュラム作成も喫緊の課題である。一方、高校入学者については、内進の進学者数、外進の志願者数のいずれも減少傾向が続いており、定員欠36名となった。この改善に向けて、今年度は通学環境の整備と合わせて、特色ある教育活動と魅力づくりを一層の推進し、学区内の小・中学校や地域の方々への個別的、継続的な情報発信等、広報活動の更なる強化に努め、本校の魅力ある教育活動について広く地域社会に浸透を図る機会を増やしていきたい。これらの課題に一つひとつ丁寧に対応し、職員が一丸となって本校教育目標を達成すべく活発な教育活動を展開することで、生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりを目指したい。</p>		学力向上策実践と授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・6年間を見通した教育課程を充実発展させることにより、個々の生徒の進路実現を支える確かな学力を身につけさせる。 ・主体的・対話的で深い学びの実践、観点別評価の導入を一層推進し、魅力ある分かる授業を展開する。 		
		教育活動の魅力化及び広報活動、地域連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫校の特色を生かした学校行事等、教育活動全般の工夫・改善を実践し、本校の魅力化・活性化を推進する。 ・積極的な情報発信、魅力アピールに努め、地域連携に積極的に取り組むことで地域から愛され、応援される学校を目指す。 		
		キャリア教育・進路指導の充実と進路保障	<ul style="list-style-type: none"> ・門司学プランに沿った生徒の可能性を広げるキャリア教育を推進することで自らの進路を切り拓く力を育成する。 ・難関大学等、上級学校進学を実現する学力養成のための講座や小論文・面接指導など個に応じた指導を実践する。 ・進路希望の多様化を踏まえ、個々のニーズを把握し必要な支援を丁寧に行うことで、一人ひとりの進路実現を支援する。 		
		心を育てる道徳教育・人権教育の充実と部活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全般において「鍛め福岡メソッド」を実践し、自他を認め合い、相手の気持ちを思い遣ることができる人権感覚と自尊心・自己肯定感・人命尊重の精神を育み、全人教育を推進する。 		
		心と体の健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に生徒の状況把握に努め、問題を抱える生徒について早期発見・早期対応による支援体制の確立に努める。 ・授業や部活動等、教育活動全般を通して心身ともに健康な生徒を育成する。 		
		高い教育効果を発揮するための教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・6年間で生徒を育てるという視点で中高全職員が「チーム門司学園」として連携し組織的に学校教育目標の実現を目指す。 ・学校活性化に向けて全職員が課題意識を持ち、意欲的・積極的・協働的に、建設的な意見交換・提案等を行い、その実現に努める。 		
		施設・設備等の教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安全・安心な環境の中で、快適に充実した学校生活を送り、学習活動を行うことができるよう、施設・設備の点検・維持・充実に努める。 		
		評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)
教務部	観点別評価導入に向けた準備	新学習指導要領を見据えた評価の在り方を検討し、観点別評価を導入する。			
	授業時間確保	時間割変更や授業実施時間の正確な把握を行う。			
	確かな学力の定着を図るための授業改善	授業の工夫改善と家庭学習の在り方を検討し、学力の定着と向上を図る。			
		ICT機器活用やアクティブ・ラーニング型授業の積極的に行うよう働きかける。			
生徒指導部	効果的な広報活動を実施する	2回の体験入学の内容を充実させ、本校の魅力を発信する。			
		中学校・塾訪問を積極的に行い、関係強化を図る。			
	基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成	いじめアンケート等を使って、いじめを未然に防止する。			
		携帯電話等を適切に使用するよう継続的に指導する。			
進路指導部	生徒会活動・部活動の活性化(中高連携)	学校行事を通して、生徒会活動を充実させる。			
		中高で、部活動・生徒会活動を連携し、学校の活性化に努める。			
	学校安全の保持・保健教育の推進	美化コンクールを実施し、校内環境を整え校内美化への意識を高める。			
		防災・避難訓練、救命救急講習会を実施し、安全能力の育成に努める。			
進路指導部	統一的な進路指導の実践	併設中学校の進路指導課と連携し、6ヵ年の進路指導計画を策定して実践する。			
		門司学ライブ(出前講義)を中学1年生から高校3年生を対象に行う。			
	新テストの研究・対策「学びの基礎診断」の取り組み	門司学プランを修正し、英語力、表現力及び小論指導の6ヵ年計画を検討する。			
		進路ノートの作成を検討し、ポートフォリオの研究も行う。			
人権教育	職員研修会の充実と読書環境の整備	生徒理解、授業改善及び新大学入試制度への対応の中高合同研修会を実施する。			
		読書活動を活性化することで生徒の感性の育成に寄与できる読書環境を整える。			
人権教育	人権尊重の精神を養い、人権意識の高い生徒を育成する。	教育活動全般を通して人権意識の高揚を目指す。			
		特設授業を実施し、人権尊重の視点に立った教育活動を実践する。			

